

Paris

見るたびに幸せな気持ちに、
アートが生む家族の会話。

ガブリエラ トスカンドゥ・ブランティエ

マイ・リトル・デイ主筆





右：積み重ねた本の上に蓋の市で購入した絵を載せるだけで、インテリアのバランスが取れる。絵を壁に飾らなくてもアートを取り入れるシンプルなアイデア。
上：ダイニングの壁にもたくさん絵を飾って。ギャラリーのような展示方法だが、スタイルも年代も形も違う絵や写真をかけることにより、モノトーンになるのを避けて、パーソナリティを感じさせるコーナーに。

Gabriella Toscan du Plantier

My Little Day という子どものお誕生日会やパーティのグッズを販売している会社を立ち上げ経営している。アーティスティックな可愛い世界観で、パリジェンヌから大人気。www.mylittleday.com

「ブラジルで生まれていまでは30年以

上もパリに住んでいるけれど、祖父はブラジルのレシフェの近くでアート週間をオーガナイズ、祖母はブラジルの伝統的な手法のカーペットの会社を経営、叔父は彫刻家。だから、アートが身近な環境で育ってきたわ。美術史を専攻するほどすごくアートが好きで、

25歳の時にマイ・リトル・アートの共同経営者になったドロテと小さなエキシビションをオーガナイズしたこともあるの。当時は無名だった3人のアーティストを招待して。その時には若くてお金もなく作品は買えなかったのだけど、それから10年経って、現在ではみんなアート界で認められた人ばかり。後からすごく後悔したわ(笑)」

いまではアート作品をたくさん所蔵するガブリエラも、すぐに蒐集を始めたわけではない。

「人生親が覆ったのは、2005年に友人の家に飾ってあったジョアナ・ヴァスコンセロスの作品を見た時。大好きなアーティストで展覧会はいつも見に行っていたの。自分が大好きなアーティストの作品が個人宅に飾られているという事実が衝撃を受けたわ。頑張れば高級な車を買えるように、好きな作品を手に入れることができると気が

付いたの」

それから少しずつ増やしていったアートは思い入れのあるものばかり。数百ユーロの作品から、購入するまで1カ月以上熟考して手に入れた作品などさまざま。

エモーションを感じるものを。

「作品の購入基準は、それを見ることで心躍るか、エモーションを感じるか。家にあるアートは見るたびに幸せな気持ちになる作品ばかり。その作品を色調に合わせて壁に飾ったり、棚の上に置いたり。インテリアに組み込んでいくのは楽しい作業よ。思いがけない出会いがあるから週末の美術館とギャラリー巡りは欠かせない。無名の小さなギャラリーでも、気に入る作品を見つけたこともあるから」

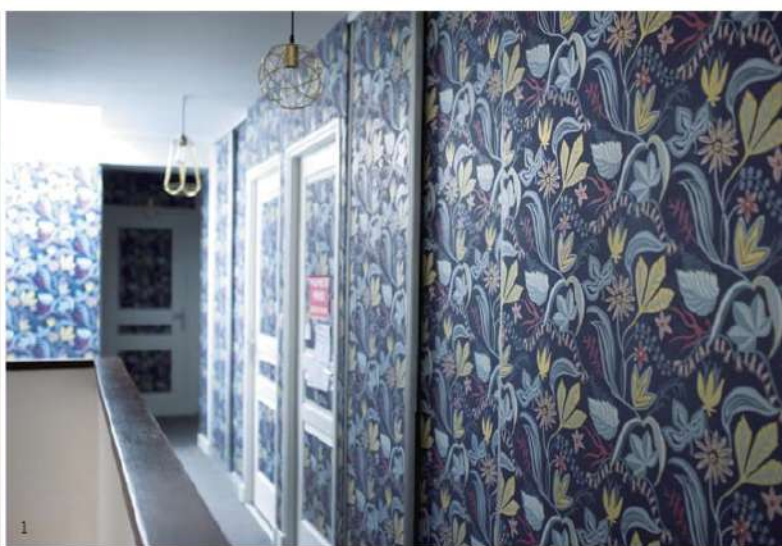
家族のライフスタイルとして日常の延長線上にアートがあり、共有するこ

とで会話が生まれているという。「私に影響されてアートを好きになった夫が、専門家というくらい新進アーティストに詳しくなって、いまでは職業にしているくらい！」

彼女のネクストステップは、オフィスにも作品を飾って、好きな作品に囲まれて仕事をするのだ。



2



1



4



3



6



1. 2階への階段を上った廊下にはインディア・マダヴィからのアドバイスで鮮やかな壁紙が。チープな素材の寂しい廊下がアーティスティックなスペースに変身。スウェーデンのメーカー、サンドバーグのSåröという柄。 2. 娘のマルゴが8歳の時に描いた絵は、白と黒の対比が印象的。 3. リビングのサイドテーブルの上にも小さな絵を飾り、マイ・リトル・デイのパーティー時の写真を添えて。さりげないコーナーの演出も利いている。 4. 気に入っているけど高すぎて買えない作品は、本を買って眺めるだけでも満足。お気に入りのオブジェを入れたエトール・ソットサスの器をテーブルに置いて。 5. 植物のプランターも、絵が描いてあるものをチョイス。実用的かつ美的なアイデアが光る。 6. ヒーターの上にも小さな棚を作り、白い花瓶や食器を集めて展示コーナーに。壁に飾ってあるのは、ブラジルの現代アーティスト、ホセ・ルフィーノの作品(左)と、オランダのブラム・ヴァン・ヴェルデ(右)の作品。



上右：ダイニングの黒と対比し、白を基調とした額装の作品をまとめて。上：ジョアナ・ワスコンセロスの馬の作品はいちばんのお気に入り。前の家の天井が低かったので、夫がダンボールで実寸大のオブジェを作成し2週間壁にかけてボリュームを確認してから購入。下には義理の妹シャルロット・ドンケーの写真を。下：ソファのデザイナー、インディア・マダヴィとは6年同一会社に仕事をした仲。クッションはインディアとスーパー、モンプリのコラボ。壁にはジャン・ピエール・ガゼム(左)とドニ・ダイユー(右)の作品を。

